

公共施設等の最適な経営管理（ファシリティマネジメント）に関する取組みについて

■ 総量最適化・有効活用に関する施設の点検・検討結果

- 大阪府は、「大阪府ファシリティマネジメント基本方針」（平成27年11月）に基づき、所有する公共施設等について、将来の利用需要に応じた総量の最適化や有効活用を図ることとしております。このため、築後25・50年目を目処に、その劣化（老朽）や有効活用の状況を点検することとしており、平成30年度は、延93施設の点検を行いました。（平成28年度からの3年間で、築後25・50年目以外の施設を含めて延208施設の点検を行いました。）

<点検結果>（過年度の点検で継続協議となった施設含む）

【築後25・50年目の施設】

区分	平成30年度			平成28～30年度 合計		
	施設数	棟数	延床面積(m ²)	施設数	棟数	延床面積(m ²)
I 維持	29	114	288,671.19	76	280	770,732.55
II 建替え(※)	0	0	0	4	4	8,847.37
III 有効活用	0	0	0	1	1	1,487.77
IV 撤去、廃止等	1	1	36,178.05	9	29	156,288.39
継続協議(点検結果がでるまで事後保全)	7	14	37,272.73	20	52	168,907.79
計	37	129	362,121.97	110	366	1,106,263.87

※ うち2施設2棟は減築

【その他(築後25・50年目以外)の施設】

区分	平成30年度			平成29～30年度 合計		
	施設数	棟数	延床面積(m ²)	施設数	棟数	延床面積(m ²)
○ (築後25・50年目の点検までの間、予防保全を実施)	39	77	354,615.74	60	105	542,890.38
△ (継続して点検を実施し、点検結果がでるまで事後保全)	14	17	151,173.57	30	37	289,789.10
× (廃止等)	3	3	4,896.42	8	11	56,610.26
計	56	97	510,685.73	98	153	889,289.74
合計	93	226	872,807.70	208	519	1,995,553.61

■ 施設の再編等による縮減

- 総量最適化・有効活用に関する施設の点検以外の施設についても縮減に取り組み、平成28年度からの3年間で、11施設21棟について、売却などを行いました。

(平成30年12月末時点)

区分	平成28～30年度 合計		
	施設数	棟数	延床面積(m ²)
売却	8	16	42,212.70
撤去	1	2	5,337.75
出資・無償譲渡	2	3	12,293.18
合計	11	21	59,843.63

■ 評価指標による有効活用の検討結果

- 総量最適化・有効活用に関する施設の点検とは別に、毎年度、評価指標（※）により有効活用度及び劣化度を点検し、有効活用方を検討した上で、その実現に向けた取組みを進めており、平成30年度は、4施設の点検を行いました。（平成28年度からの3年間で、延58施設の有効活用の状況を点検しました。）

（※）「減損の兆候を判断する指標」：固定資産に減損が生じている可能性を示す事象があるかどうかを確認するもの。固定資産の「減損」とは、固定資産に現在期待される行政サービス提供能力が当該資産の取得時に比べて著しく減少し将来にわたりその回復が見込めない状態又は固定資産の将来の経済的便益が著しく減少した状態をいう。